

栃木県の幼児教育と小学校教育をつなぐジョイントカリキュラム

つなげよう!

とちぎのこどものまなび



令和元（2019）年度幼小連携推進者養成研修まとめ

## この資料は

- ✧ 入学を境にした時期に、子どもの学びや育ちがどのようにつながっていくのかを、多様な側面(テーマ)から捉え、まとめたものです。
- ✧ テーマごとに、幼児期後期から小学校入学当初にかけて大切にしたいことを、「子どもの姿」「保育者や教師が大切にすること」「大切な経験や活動」の3つの視点で示しました。
- ✧ 各園・各校でアプローチカリキュラムやスタートカリキュラムを見直す際の参考にしてください。



## 令和元(2019)年度 受講者及びジョイントカリキュラムテーマ

所属・氏名		テーマ	所属・氏名		テーマ
1	宇都宮市立細谷小学校	鈴木 順子	11	小山市立間々田東小学校	松本 万里子
	西が岡保育園	井上 智子		間々田北保育所	金原 由美
2	宇都宮市立雀宮中央小学校	藤田 明江	12	栃木市立吹上小学校	井口 美香子
	星風会雀宮保育園ステラ	矢嶋 真紀子		都賀よっぱ保育園	大島 美香
			13	下野市立古山小学校	尾花 紀子
				石橋幼稚園	上野 沙也加
4	上三川町立明治小学校	田崎 鳩子	14	さくら市立氏家小学校	高瀬 志徳美
	大山保育園	石井 真美		たいよう保育園	桑原 裕子
5	鹿沼市立西小学校	菱沼 清美	15	高根沢町立西小学校	猪野 千恵子
	にっこり保育園	北村 奈美		陽だまり保育園	野中 麻友美
6	日光市立今市第三小学校	倭文 小百合	16	大田原市立西原小学校	志賀 美樹恵
	認定こども園今市中央幼稚園	沼尾 明穂		しんとみ保育園	三本木 千春
7	日光市立日光小学校	小林 悦子	17	那須町立学びの森小学校	菊地 仁美
	輪王寺附属日光幼稚園	小池 久美子		黒田原第2保育園	岸 美晴
8	真岡市立久下田小学校	中島 倫子	18	那須塩原市立西小学校	松本 朋子
	西田井保育所	石井 聖恭		永田保育園	相馬 良一
9	益子町立七井小学校	小林 悠里	19	佐野市立佐野小学校	石川 綾子
	七井保育園	横塚 智美		救世軍佐野保育園	新井 友理
10	野木町立南赤塚小学校	黒須 真佐子	20	足利市立御厨小学校	永井 美希
	法得幼稚園	長 亜紀子		梁田保育所	大木 理恵

# 第1班 テーマ：健康な心と体

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

子どもの姿

食べることへの  
興味・関心

友達や先生と  
食べる楽しさ

食べるものを  
育ててみよう

食べるものを  
作ってみよう

食べるって  
大切

苦手なもの  
も食べたい

- ・手作りやできたての給食やおやつを食べることにより、食べ物への関心を高めるようにする。
- ・十分に体を動かせる時間、場所を確保し「お腹が空いた」と感じられる環境をつくる。
- ・「みんなと食べるとおいしいね」と思える環境、楽しい雰囲気作りを心掛ける。
- ・身近なお米や夏野菜を園庭で育て、収穫を楽しみにしながら水やりなどの世話がいつもできるようにする。
- ・野菜の色や匂い、形などをよく観察し、野菜本来の味を感じられるようにする。
- ・収穫したお米や野菜を調理してもらったり、自分で調理したりして食べ、改めて食と健康について興味を持ち、苦手なものでも少しずつ食べられるようにする。

- ・毎日の給食を通して、多くの友達と会食する楽しさや、その日の献立の栄養が分かるように、環境を工夫する。
- ・食事を配膳する給食の当番の仕事をスモールステップで行うことによって、自分の役割を果たす自信や食事を作る人への感謝の気持ちにつながるようにする。
- ・給食の前に、手を隅々まで洗ったり、うがいをしたりすることや、給食の後に歯磨きをすることによって、衛生面の大切さを知ることができるようにする。
- ・生活科の栽培活動や調理活動を通して、野菜やお米を作り、食べ物を作る自然環境の大切さを知ったり、作る人への感謝の気持ちをもったり、作って食べる楽しさを実感したりできるようにする。
- ・食への興味が高まり、自分から少しでも苦手な食材を食べられたときに、健康につながる喜びを共有し、自信や次の意欲につなげる。



- ・戸外活動
- ・食事のマナーを知る。
- ・米の苗植え
- ・栽培活動・収穫
- ・簡単な調理
- ・当番活動
  
- ・楽しい給食  
(学活)
- ・給食当番活動
- ・親子給食
- ・栄養士による指導  
(栄養・マナー)
- ・おにぎり・お弁当の日
- ・食育週間
- ・栽培活動・収穫
- ・調理活動

目指す姿：楽しく食べたい。残さず食べたい。

幼児期・年長後半  
(学びの芽生え)  
入学  
一年生・入学当初  
(自覚的な学び)

# 第2班 テーマ：道徳性・規範意識の芽生え

幼児期・年長後半  
入学  
一年生・入学当初

(学びの芽生え)

(自覚的な学び)

子どもの姿

他者との  
トラブル

自己を  
振り返る

他者と自分の  
違いに気付く

折り合いを  
つける

相手を  
理解する

相手を  
受け入れる

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

- ・子どもたちが経験している様々な感情を見逃さず、喜び・驚き・悔しさなどの経験を大切にすること。
- ・お互いの意見を交換したり、価値観の違いを経験したりできるような遊びを取り入れる。
- ・相手を受け入れる余裕が生まれるよう、普段から気持ちを保育者がしっかりと受け止めるよう心掛ける。



- ・ルールがある遊び
- ・鬼決め

- ・会議
- ・相手の意見を聞く
- ・ニュースごっこ
- ・スピーチ  
(相手を考えた話し方・聞き方)

- ・ルールづくり
- ・道徳の授業
- ・係活動
- ・当番活動
- ・グループ活動
- ・休み時間
- ・行事



- ・様々な幼稚園・保育園から集まってきた児童は、児童同士はもちろん、学校の事も分からず不安なので、「ルールづくり」を指導しながら相互理解に努めるようにする。
- ・当番活動や係活動を通して、自分の役割を理解し、友達と協力して生活できるようにする。
- ・学習の中で、自分と友達の考えを比べながら聞き、友達の「よさ」を認められるようにする。
- ・運動会や校外学習等様々な学校行事において、友達と関わり合いながら、相手を受け入れる気持ちがもてるよう、子どもの様子をよく見て声かけをしていく。



目指す姿：思いやりの心をもった子ども

# 第4班 テーマ：文字への関心・感覚

幼児期・年長後半  
入学  
一年生・入学当初

(学びの芽生え)

(自覚的な学び)

## 子どもの姿

文字に親しむ

文字を書きたい、読みたいという気持ちをもつ

正しい鉛筆の持ち方を知る

文字を書いて伝えたいという気持ちをもつ

自分の名前を書く

正しい書き順で字形の整った文字を書く

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

- ・文字に対しての興味・関心をもてるような遊びや活動の場を設ける。
- ・保育者が保育室のホワイトボードなどを利用し、文字を書いて示し、文字に親しみをもてるようにする。
- ・線や文字を書く教材を用意し、鉛筆を持って書くことの楽しさを味わえるようにする。
- ・鉛筆の正しい持ち方を知らせ、小学校での学習に対し、期待感をもてるようにする。



- ・文字は多くの人に目的や自分の思いを伝える手段であることを知らせ、共通した正しい読み方・書き方を知る必要性に気付くことができるようにする。
- ・感情を込めたり、言葉のまとまりに気を付けたりして音読し、文字を音声化できるようにする。
- ・正しく書くことへの喜びや書いて伝わった時の達成感を味わうことができるようにする。



- ・クレヨンでの描画
- ・紙芝居や絵本の読み聞かせ
- ・読書(絵で読む)
- ・カルタ取り
- ・描線(なぐり書き)
- ・あいうえお表の掲示
- ・鉛筆の持ち方指導

- ・クーピーでの描画(筆圧を上げる)
- ・鉛筆の持ち方指導
- ・描線(なぞり書き)
- ・ひらがなの学習
- ・読書(字で読む)

目指す姿：正しい文字を書くことの喜びを味わうことのできる子

# 第5班 テーマ：言葉による表現力の育成

幼児期・年長後半  
 (学びの芽生え)  
 ↓  
 入学  
 ↓  
 一年生・入学当初  
 (自覚的な学び)

子どもの姿

話したい伝えたい

安心して話せる

話す喜び

授業や活動から、話し方のスキルを知る

聞きたい・聞くことの大切さを知る

相手の思いや考えを知る喜び

【保育者・教師が大切にすること】

- ・日常的な挨拶から始まり、スキンシップや会話の中で信頼関係を築いていく。
- ・子どもの話していることを肯定的に受け止め、安心して話ができるようにする。
- ・言葉に表せない、人前で話せない、上手に伝えられない子の思いをくみ取り、代弁することにより満足感を得ながら話す力を育てていく。
- ・絵本や紙芝居を通して言葉だけではなく想像力も育てていく。
- ・子ども同士のやりとりを見守りながら、相手の思いや考えをお互いに知ることができるようにしている。



【大切な経験や活動】

- ・挨拶
- ・歌
- ・絵本、紙芝居の読み聞かせ
- ・当番活動
- ・ごっこ遊び
- ・劇遊び
- ・集団遊び
- ・製作活動



- ・国語  
自分のことを話す
- ・生活科  
気づき・班の話合い・発表
- ・図工科  
目的別班の話し合い・制作活動
- ・学活  
エンカウンター
- ・道徳  
役割演技
- ・全校活動



- ・国語の授業では、自分のことや思ったことを言葉で伝え合うことで、発表の仕方を身に付け、伝え合うことの楽しさに気付くようにする。同時に語彙を増やす学習にも取り組ませる。
- ・生活科の授業では、アサガオの学習やその他の自然について、班の中で話し合う活動を通して、相手を意識して言葉で伝え合うことの大切さに気付かせるとともに、コミュニケーションをとる経験を積み重ねる。
- ・学活のエンカウンターや全校活動の交流などを通して、友だちへの関心を高め、人間関係を広げていく。
- ・道徳で役割演技などで言葉でやりとりすることで自己理解・他者理解を深められるようにする。



目指す姿：思ったことや考えたことを伝え合うって楽しいね

# 第6班 テーマ：言葉による伝え合い

幼児期・年長後半

(学びの芽生え)

入学

(自覚的な学び)

一年生・入学当初

子どもの姿

自分の思いを  
言いたい

聞いてもらい  
たい

友達の話を  
聞きたい

伝え合うの  
が楽しい

もっと詳しく  
聞きたい

もっと詳しく  
話したい

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

- ・「保育者に話したい」と思えるような信頼関係を築き、安心して生活できるクラスをつくる。
- ・自分の考えや要求などを自分の言葉で友達や保育者に伝えられるよう、子どもが何でも話せるような環境づくりをしていく。気持ちに寄り添いながら受け止めたり褒めたり認めたりして保育者自身も言葉で伝えていく。
- ・コミュニケーションの楽しさを味わえる遊びや活動を通して、『話したい』『聞きたい』という意欲を高めていく。
- ・簡単な発表から始め、小グループ・クラス単位で話し合いを取り入れ、保育者が話を引き出し、伝える喜びを味わわせるようにする。



- ・あいさつ
- ・ごっこ遊び
- ・誕生会や季節の行事
- ・歌、リトミック、手遊び歌
- ・絵本、紙芝居の読み聞かせ
- ・栽培活動
- ・劇遊び
- ・お話作り
- ・自己紹介
- ・当番活動
- ・グループ活動
- ・学校探検
- ・スピーチ
- ・読書
- ・音読発表会
- ・ペアやグループでの話し合い
- ・縦割り登校班
- ・帰りの会での振り返り

目指す姿： 伝え合うって楽しいな



# 第7班 テーマ： 協同性

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

子どもの姿

友達と楽しく遊ぶ

共通の目的を持って遊ぶ

完成した喜び、達成感

友達と協力する楽しさを味わう

友達のおさを認め合う

一緒にやり遂げたい

- ・友達とやりたい遊びを十分に楽しめるように時間と場所を用意する。
- ・友達が興味を持った遊びや夢中になっている遊びを知ること互いに刺激を受け、遊びや興味を広げられるようにする。
- ・自分たちで考えを出し合い工夫しながら活動する姿を大いに認め友達と協力する楽しさや満足感が味わえるようにする。

- ・新しい友達と仲良くなるために教師も一緒に遊び子ども同士がつながるよう関わる。
- ・友達と協力することの大切さや楽しさに気づき、仲間意識を高められるようにする。
- ・みんなで同じことをするのではなく、分担した方がよいことに気付けるような言葉かけをし、自分たちで協力して取り組めるようにする。
- ・友達やクラス全体で共通のイメージや目的をもって協同してやり遂げる充実感を味わえるような機会を設ける。



- ・ままごと
- ・ごっこ遊び
- ・お当番活動
- ・運動会
- ・おみせやさんごっこ
- ・紙芝居の発表
- ・運動遊び
- ・おゆうぎ会
- ・おうち作り
- ・掃除
- ・動物園ごっこ
- ・自己紹介
- ・名刺交換
- ・学校探検
- ・遠足
- ・日直当番
- ・給食当番
- ・係活動



目指す姿：友達と協力するよ 一緒にやり遂げるよ

幼児期・年長後半  
(学びの芽生え)

入学

一年生・入学当初  
(自覚的な学び)

# 第8班 テーマ：言葉による伝え合い

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

子どもの姿

いろいろな  
経験・体験

自分の思い

伝えたい・  
知らせたい

伝わる喜び・  
嬉しさ

多くの人に  
伝えたい

もっと上手  
に伝えたい

- ・乳児期から、言葉にならない声を受け止め、思いを発する安心感を得られるように関わる。
- ・園児との信頼関係を築き、思いを代弁して、言葉にしていく。
- ・自分の言葉で表現できるように促す。
- ・子ども同士の言葉のやり取りを大切にする。
- ・相手に伝えることの心地よさを感じさせる場を、多く設ける。
- ・発表会の劇では、子どもたちが自分の台詞を作ることができるように、役の気持ちを一緒に考える。
- ・異年齢児との関わりの中で、必要な言葉に気付くよう働きかける。



- ・新しい環境に不安をもっている児童に安心感を与え、何でも話ができるような信頼関係を築くために、進んで声をかけ、一人一人の話に耳を傾けるように心がける。
- ・入学当初の活動の中で、簡単な質問に答えたり、自分を紹介したりする活動を多く設け、伝えることの楽しさを十分に味わわせる。
- ・うまく言葉で伝え合うことができない場合は教師がよいモデルを示すようにする。
- ・当番活動や係活動などでは、友達同士の関わりを大切にする。
- ・話をするときには、伝える相手を意識させるようにする。



- ・絵本
- ・紙芝居
- ・ごっこ遊び
- ・言葉遊び
- ・お絵描き
- ・文字に触れる  
(マーク→文字)
- ・リズム遊び
- ・発表会
- ・自由遊び
- ・異年齢児との  
かわり
- ・自己紹介
- ・朝のスピーチ
- ・帰りの会の発表
- ・ペア学習
- ・グループの  
話合い
- ・集団遊び
- ・学校探検

目指す姿：自分の思いを相手に分かるように伝える

幼児期・年長後半  
(学びの芽生え)  
入学  
(自覚的な学び)  
一年生・入学当初

# 第9班 テーマ：数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

幼児期・年長後半  
入学  
一年生・入学当初  
(学びの芽生え)  
(自覚的な学び)

子どもの姿

読み聞かせが好き

文字に興味をもつ

自分の名前が読める

自分の名前が書ける

平仮名が書ける

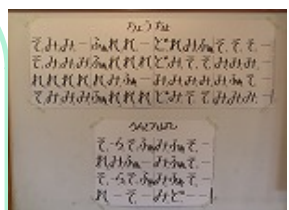
上手に書きたい

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

- ・写真や絵などに文字を加えることにより、文字に興味をもたせる。
- ・文字が読める喜びを感じられるようにする。
- ・「読みたい」「書きたい」「作りたい」という気持ちをもてるような環境設定をする。
- ・生活の中で、数字や文字を読む習慣を付けるために保育室内で文字探しゲームなどを遊びに取り入れていく。
- ・字を書くことによって、小学校就学への意識を高める。
- ・書けた喜びを共有し、「もっと書けるようになりたい」と思えるようにする。



- ・幼保の雰囲気が始まるよう、手遊びや紙芝居などを取り入れる。
- ・「いちねんせいになったよ」では、学級のみんと自己紹介やゲームを通して、友達の名前を覚えようとする意欲をもたせる。自分のサインをつくる活動から、文字への興味をもたせる。
- ・学校探検や公園での校外学習から友達に伝えたいことを絵や文字で表せるように、児童の発言から言葉を単語で板書する。
- ・単語をつなげて文作りができるようにする。
- ・丁寧に書けるという自信を持たせる。



- ・月刊誌を読む
- ・紙芝居を読む
- ・掲示物(当番)(日付)
- ・名前の表示
- ・50音表の掲示
- ・ひらがなの学習
- ・文字探しゲーム
- ・名前(丁寧ななぞり書き)
- ・自分の自己紹介カード作成
- ・あいさつの活動
- ・サイン交換
- ・ひらがなドリルによる書き学習

目指す姿：みて！こんなに書けるよ！

# 第10班 テーマ：道徳性・規範意識の芽生え

## 子どもの姿

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

困っていることに気付く

友達を助けたい

協力し合う

相手のことを考える

周りの状況を考える

よい行いをしたい

- ・自ら困っていることが言えた子をほめる。
- ・注意ではなく気付かせる（友達同士）
- ・異年齢、男女で楽しく遊べるルールを子どもたち自身で考える環境をつくる。
- ・本を通して、答えを出さず子どもたちから意見が出るよう促す。
- ・悩んでいる子へ寄り添い、共に考える。
- ・自分自身の頑張ったことを発表する。（1学期）
- ・友達の頑張っていたこと、気付いたことを発表する。（2学期）



- ・学校生活でのきまりを確認し、集団生活のルールを守ることで、みんなが気持ちよく過ごせることに気付かせる。
- ・日常生活の具体的な場面を取り上げ、何ができるか、何をしたらよいのかを考え話し合う場をもつ。
- ・道徳の授業で、子ども自身によりよい行動について考えさせる。
- ・係活動や清掃活動を通して、みんなのために働くことの大切さを知り、満足感や達成感を味わわせる。



- ・ぴっかり(本)こんなときどうする。
- ・友達のよい行いをほめる。
- ・ドッジボール
- ・お寺の住職先生の話聞き命の尊さを知る。
- ・昆虫採集
- ・飼育栽培活動
- ・そうじ、片付け、お手伝い
- ・係活動
- ・各教科授業でのグループ活動
- ・道徳の授業
- ・清掃活動
- ・学級会での話し合い活動
- ・生活科校外学習

目指す姿：相手の気持ちを考える。自分事として考える。

幼児期・年長後半  
入学  
一年生・入学当初  
(学びの芽生え)  
(自覚的な学び)

# 第11班 テーマ：自立心

幼児期・年長後半

(学びの芽生え)

入学

(自覚的な学び)

一年生・入学当初

## 子どもの姿

やりたいことを見つけ  
やってみようとする

集中して取り組む

試行錯誤を繰り返し、できた達成感を  
味わう

小学校はどんなところ？  
〈期待と不安〉

小学校は楽しい。  
これなら大丈夫。  
〈安心〉

よし、もっともっとチャ  
レンジしてみよう！  
〈自信と主体性〉

## 【保育者・教師が大切にすること】

- ・自分のやりたい遊びを見つけ、工夫してやり遂げられる環境をつくる。
- ・やりたい気持ちだけで進めていくのではなくルールや約束事があることも知らせる。
- ・頑張っている姿を見守り、認めていく。
- ・一つの遊びや活動を最後までやり抜こうとする姿を見守る。
- ・自分がすごいと思えるような経験ができる機会を作っていく。
- ・成功体験、失敗体験を味わえるようにする。



- ・小学校生活への不安を解消させ、自己肯定感を高める。
- ・1年生になってがんばろう、新しいことにチャレンジしてみようという気持ちを大切に、失敗しても肯定的に受け止める言葉かけを心掛ける。
- ・学校のきまりを理解させ、学校生活の基盤をしっかり身に付けさせる。
- ・子どもたちがお互いのよさを認め合い、励まし合えるクラスづくり、人間関係づくりに努める。
- ・主体的に学ぶための土台づくり（国・算の基礎基本の徹底）
- ・成功体験の積み重ね



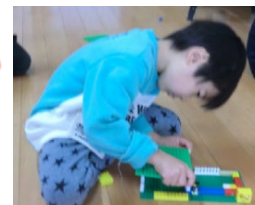
## 【大切な経験や活動】



- ・身の回りの整理・整頓
- ・たくさんの遊びの経験
- ・遊びの観察



- ・当番活動
- ・目的に向かってやりとげる
- ・達成感、充実感



- ・新しい友達との出会い
- ・人間関係づくりゲーム
- ・日直当番
- ・給食当番



- ・係活動
- ・学校探検
- ・アサガオの世話
- ・基礎基本の学習

目指す姿：自分でやるべきことを考え、工夫してやり遂げる子ども

# 第12班 テーマ：言葉による伝え合い

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

子どもの姿

自分の思いをもつ

伝えたい

伝わるうれしさ

もっと上手に伝えたい

交流  
(話す・聞く)

自信をもって伝えられる

- ・話したい気持ちを受け止め、相手に上手く伝えられるように言葉を代弁していく。
- ・生活する中で、友達と触れ合い、会話が楽しめるように環境の工夫をする。
- ・言葉による伝え合いができるよう、発表の場を設ける。
- ・伝えたい気持ちを受け止め、励ましながら見守る。
- ・活動の中で子ども同士役割を決めたり、意見を出し合いながら進めていく。
- ・子どもの中でルールを決め、協力し合いながら友だちの意見を取り入れ、遊びを楽しめるように取り組む。



- ・意欲的に取り組み、友達に伝えたいような活動を設定する。
- ・話す、文章を書く、絵を描くなど、伝えるための方法や手段を工夫する。
- ・伝え合う（話す・聞く）楽しさを味わえるような場を設ける。
- ・日頃から、互いを知り、安心して伝え合える人間関係を築けるよう配慮する。
- ・自分の考えや思いを言葉にして伝えられるように、語彙力を高める指導を行う。
- ・子どもたち同士で話し合い、解決する力をつけられるように見守り、必要な際は支援する。
- ・思いや考えを上手に伝える経験を数多くさせ、自分で伝えられるという自信をもたせる。



- ・読み聞かせ
- ・紙芝居
- ・ごっこ遊び
- ・言葉遊び
- ・伝言ゲーム
- ・スピーチ
- ・クイズ
- ・文字学習
- ・少人数による話し合い(ペア・グループ)
- ・クラス遊び(集団遊び)
- ・係活動
- ・異学年交流・異年齢との関わり
- ・あいさつ
- ・ルールのある遊び
- ・園外保育
- ・校外学習

目指す姿：自分の思いを分かりやすく伝える

幼児期・年長後半  
(学びの芽生え)  
入学  
一年生・入学当初  
(自覚的な学び)

# 第13班 テーマ：数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

幼児期・年長後半  
（学びの芽生え）  
↓  
入学  
↓  
一年生・入学当初  
（自覚的な学び）

## 子どもの姿

文字に親しむ

楽しく読む

相手に伝える

正しく読みたい

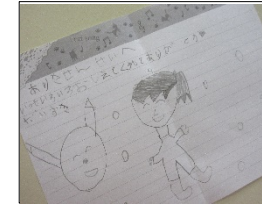
正しく書きたい

丁寧に書きたい

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

- ・文字や数字に対する興味・関心がもてるような遊び・環境を工夫する。(子どもたちに気付かせるような声かけをする。)
- ・相手に伝える・伝わる喜びを知り、『もっとこうしたい』という気持ちを引き出す。
- ・小学校での学習を意識して文字の形や書き順に気をつけて正しく書いてみる。
- ・正しい鉛筆の持ち方を教える。
- ・子どもたちとの会話の中に時間や時計に関わる内容を盛り込む。



- ・読み聞かせ
- ・カルタ
- ・作品展  
（絵と文字）
- ・暦の読み方
- ・ゲーム(しりとり)
- ・絵本
- ・手紙のやり取り
- ・文集
- ・鉛筆の持ち方
- ・名刺交換
- ・ひらがな・すうじノート
- ・言葉についての話し合い
- ・自己紹介
- ・観察カード
- ・読書タイム
- ・クイズ作り
- ・時計の読み方
- ・掲示物

- ・文字を書くための基本的な技能(鉛筆の持ち方や手の添え方)を指導する。
- ・平仮名を指導する時には、筆順・とめ・はね・はらい等を丁寧に指導する。
- ・国語の時間だけでなく、他の教科でも文字や図形の知識を広げるような学習を意図的に設定する。
- ・授業やその他の活動で言葉を豊かにする活動を多く取り入れる。
- ・自分の思いや願いを表現する活動を多く設定し、文字を正しく使おうとする意欲を高める。
- ・観察カード等、児童が書いたものを掲示し、見合うことで、児童が書くことに対する意欲を高める。

目指す姿：思ったことが正しく書ける

# 第14班 テーマ：道徳性・規範意識の芽生え

幼児期・年長後半  
入学  
一年生・入学当初

(学びの芽生え)

(自覚的な学び)

## 子どもの姿

やってみる

成功失敗の  
繰り返し

やって良い  
こと、悪い  
ことが分かる

相手の思  
いに気付く

決まりを守  
るよさが  
分かる

相手の気持  
ちを考えて  
行動する

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

- ・子どもたちがやってみようと思える場を多数設定し、見守る。
- ・友達との遊びの中で、気持ちの行き違いや葛藤を見守り、相手の気持ちを感じ取ることができるようにしていく。
- ・生き物の世話を通して、命の大切さを知る機会をつくる。
- ・みんなで使う物を大切に扱う。
- ・互いのよさに気付くことができるように、友達の頑張っている姿やよい行動を紹介する。
- ・ルールを守るとみんなが楽しく遊べるということを、遊びを通して伝えていく。



- ・学習や生活の中で、いろいろな考え方や物事の見方を認め、紹介する。
- ・子ども一人一人の気持ちを受け止める。
- ・生活の中で、決まりを守れたことを賞賛し、その時の自分の気持ちや周りの人の気持ちを伝え合う。
- ・当番、係活動を通して、やらねばならないことを協力してやり遂げることの大切さが実感できるような声かけをする。
- ・トラブルが起きたとき、自分の行動を振り返り、自分も相手もいい気持ちになれる方法を一緒に考える。



- ・挨拶
- ・当番活動
- ・生き物の世話
- ・ごっこ遊び
- ・自由遊び
- ・ルールのある遊び
- ・準備、片付け
- ・話の聞き方
- ・絵本(読み聞かせ)
- ・休み時間
- ・清掃活動
- ・凡事徹底
- ・靴やスリッパをそろえる
- ・各教科の学習
- ・グループ学習
- ・学校探検
- ・生き物とのふれあい
- ・係活動

目指す姿：自分もみんなもいい気持ち



# 第15班 テーマ：協同性

幼児期・年長後半  
(学びの芽生え)

入学

一年生・入学当初  
(自覚的な学び)

## 子どもの姿

目的に向  
かって工夫、  
協力

友達のよさ  
に気付く

主体的に  
行動できる

新しい友達  
に慣れる

気持ちや  
考えを伝  
え合う

認め合い、  
助け合い

## 【保育者・教師が大切にすること】

- ・友達との楽しい時間をつくり共有し合う。  
(環境の構成)
- ・子どもたちとの話に大人から答えを出すのではなく、  
子どもから話すことを待つ。(自分の気持ちを言葉  
にする。)
- ・経験、体験を伝え合う機会
- ・自分の気持ちや相手の気持ちを知る。自分のことを  
主張するばかりではなく、相手の気持ちに寄り添う  
ことができるようにする。
- ・まずは、子どもたちに任せてみる。
- ・一人一人の理解や課題の把握。
- ・経験の蓄積(場の設定、満足感)



- ・新しい環境に慣れ、安心して生活できるように支  
援する。(他の園の児童同士をつなぐ)
- ・みんなが楽しく活動できるルールを確認する。
- ・一人一人の内面理解に努める。
- ・自分の思いを言葉で伝えることができるように支  
援する。
- ・時間、場、物を確保し、自分たちが計画したこと  
をやり遂げることができるようにする。  
(生活科)
- ・友達と助け合って、当番活動ができるようにする。
- ・今まで経験してきたことを生かし、新たな学習に  
チャレンジしようとする気持ちを大切にすること。



## 【大切な経験や活動】



- ・一日の始まりに、作  
戦会議
- ・野菜に一から携わる
- ・自然との遊び
- ・当番活動(年長)
- ・登山
- ・キャンプ
- ・藍栽培～藍染め
- ・自己紹介
- ・休み時間
- ・生活「ともだちとあそ  
ぼう、がっこうたんけ  
ん」
- ・体育「たのしくあそ  
ぼう」
- ・道徳「あいさつでし  
あわせに」
- ・なかよし班活動
- ・給食当番
- ・係活動

目指す姿：友達と協力しやり遂げる子

# 第16班 テーマ：道徳性・規範意識の芽生え

幼児期・年長後半  
(学びの芽生え)  
↓  
入学  
(自覚的な学び)  
↓  
一年生・入学当初

子どもの姿

友達と遊ぶ

自分の気持ちを伝える

相手の意見も聞く

善悪の判断ができる

ルールを守る大切さに気付く

友達と協力できる

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

- ・子ども同士の関わりを見守る。遊びの中や活動の中でも、保育者は必要以上に介入しない。
- ・自分の気持ちを自分の言葉で相手に伝えられるようにする。
- ・相手にも気持ちがあることを知り、相手の気持ちも聞こうとする態度を育てる。また、徐々に相手の気持ちを受け入れられるようにする。場合によっては、保育者が相手の気持ちを代弁したり、相手の立場になったら…と考えさせたりする。
- ・生活や遊びの中で、ルールがあることを知らせていく。
- ・ルールを守ることの大切さや、ルールを守って遊ぶことの楽しさに気付けるようにする。



- ・道徳の時間で道徳的な心についてじっくり考える時間を設ける。
- ・友達と関わる場面を意図的につくる。(授業中、昼休み、行事など)
- ・善悪の判断がつけられるように、ルールや規則について考えさせる。決まっているからではなく、なぜルールがあるのか周りのことも考えながら、その理由について確認する。
- ・自分の気持ちだけではなく、周りのみんなの気持ちを考えて行動できるように集団行動を意識させる。
- ・個々の気持ちも受け止めつつ、集団で生活することを意識させる。
- ・クラスでの目標を決め、達成できるようにみんなで取り組ませる。



- ・集団遊び  
(保育者が提示する)  
(子どもたちが自発的に始める)
- ・異年齢交流
- ・当番活動
- ・絵本、紙芝居の読み聞かせ
- ・散歩
- ・園外保育
- ・当番活動
- ・クラス遊び
- ・グループ活動
- ・縦割り班活動
- ・校外学習

目指す姿：相手の気持ちを考えて行動できる

# 第17班 テーマ：道徳性・規範意識の芽生え

## 子どもの姿

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

友達と様々な  
体験を重ねる

友達の気持ち  
に共感する

自分の行動を  
振り返る

決まりを守ること  
の大切さが分かる

友達の立場に  
立って行動する

自分の気持ちに  
折り合いを付ける

- 生活や遊び、行事の中で、友達と協力してやり遂げることの楽しさや達成感を味わえるようにする。
- 園児と一緒に約束やルールを考え、それらを園児が意識できるようにする。場に応じて話し合う時間を設け、善悪について一緒に考えていく。
- 話し合いの場では、一人一人発表できるよう配慮し、考えを伝えたり聞いたりする経験を積み重ねていく。
- トラブルがあった時には、まずは様子を見守り、必要に応じて仲立ちをしていく。保育者が双方の思いを受けとめ、時には代弁しながら、園児が相手の思いに気付けるようにする。

- 一日の目標を、毎日、自分たちで決めたり振り返ったりする時間を設ける。
- 道徳の時間を活用し、身近な事柄と関連をもたせながら、動作化したり互いの思いを共有したりする活動を充実させる。
- 学級会（話し合い活動）で、道徳性・規範意識を高めるための目標（生活の目標など）を、子どもたち同士で話し合い決定する。達成できたことや課題について、随時振り返りをしていく。
- できたことを確認し、互いに認め合う場をもつことで、自信をもたせ、進んで決まりを守ろうとする態度を養う。



- ・当番活動
- ・運動遊び
- ・集団遊び
- ・鼓笛隊練習
- ・制作活動
- ・片付け
- ・卒園制作

- ・当番・係
- ・学校探検
- ・儀式的行事
- ・文化的活動
- ・健康安全・体育的行事
- ・遠足
- ・勤労生産・奉仕的行事



幼児期・年長後半  
（学びの芽生え）  
↓  
入学  
↓  
一年生・入学当初  
（自覚的な学び）

目指す姿：相手の気持ちを考え、進んで決まりを守ろうとする

# 第18班 テーマ：思考力の芽生え

幼児期・年長後半  
入学  
一年生・入学当初  
(学びの芽生え)  
↓  
(自覚的な学び)

子どもの姿

発見  
なんだろう

すごいな  
調べてみよう

友達に  
教えよう

友達と  
調べよう

知ることは  
楽しい

もっと  
知りたい

【保育者・教師が大切にすること】

- ・子どもたちが興味をもち、取り組みたくなるような活動や環境を設定する。
- ・子どもの気付きを見逃さず寄り添い、「やってみたい」「知りたい」という心情を育む。
- ・子どもが自由に調べられたり、試行錯誤できたりする場面や環境を用意しておく。
- ・子どもが調べ、発見したことに共感し、達成感を感じられるようにする。
- ・気付きや発見を子ども同士で共有したり、力を合わせて協力したりできるよう保育者が仲立ちをする。
- ・「気付き→調べる→分かることが楽しい」ということを繰り返し経験することで、物事に諦めず根気強く取り組んでいく態度を育てていく。



- ・友達と仲良くなり、学校で安心して生活できるようにする。
- ・生活科の「学校探検」等の活動で自分の気付きと友達の気付きを比べたり、違いに気付いたりして、友達の学びと自分の学びの違いとよさを知ることができるように支援する。
- ・「もっと調べたい。」「もっと知りたい。」という気持ちを大切に、上級生や先生にインタビューできるような活動を取り入れて、学びの充実感を味わわせる。
- ・生活科だけでなく、各教科の学習において、具体物の操作を積極的に取り入れる。
- ・読み聞かせをし、聞くことのよさを知らせる。



【大切な経験や活動】



- ・園外保育
- ・虫取り
- ・生き物の飼育
- ・植物の栽培
- ・製作遊び
- ・ごっこ遊び
- ・運動遊び
- ・グループ活動
- ・学校探検
- ・上級生による学校紹介
- ・ひらがなの学習
- ・言葉集め
- ・種まき
- ・算数科での具体物を用いた操作活動
- ・本の読み聞かせ

等

目指す姿：やりたい！！楽しい！！学びたい！！

# 第19班 テーマ：協同性

幼児期・年長後半  
（学びの芽生え）  
入学  
（自覚的な学び）  
一年生・入学当初

## 子どもの姿

やってみたい  
たのしそう

できた  
うれしい

もっとこうしたい  
チャレンジ

小学校って  
どんなところかな

ともだちが  
できるかな

あしたも  
たのしみだね

## 【保育者・教師が大切にすること】

・子どもたちが遊んでいる様子を観察し、さらに遊びが広がっていくような声かけをしたり、保育者も一緒になって遊んだりして、その中で環境を整えていく。

・様々な活動、遊びの中で共通の目的をもち、友達と協力して助け合いながら（できた・楽しい）過ごせる時間を設ける。

・成功体験を自信につなげ、「もっとこうしたい」という気持ちに寄り添う。

・保育者対子どものやりとりの中で気持ちを伝え合う。

・子どもたちから出た質問や疑問などに対応しつつ、クラス全体で話し合い、意見を出し合いながら解決していく。



・入学に際しての期待、緊張や不安を理解する。  
・担任や級友との出会いを大切に。（声かけ、座席の配慮等）

・学校での一日の流れやきまり、道具や教室等の使い方を分かりやすく伝える。（短い言葉で伝える。その場所に行ったり、写真や絵などを使ったりしながら行う。）

・幼稚園・保育園での経験を活かしながら、生活科を中心に合科的に学習活動を進める。

・学習形態を工夫する。（ペアやグループ等）

・児童理解、保護者との情報の共有に努め、指導や支援に生かす。



## 【大切な経験や活動】



- ・ひとり遊び
- ・ごっこ遊び
- ・様々な遊び
- ・お手伝い
- ・グループ活動
- ・ルールのある活動
- ・勝敗のある遊び
- ・失敗から成功へ
- ・達成感、充実感
- ・異年齢交流
- ・話し合い
- ・入学式、学級開き
- ・教科学習
- ・給食の時間
- ・係活動
- ・登校・清掃（異学年）
- ・生活リズムや環境への適応
- ・授業参観（生活科のアサガオの種まき）

目指す姿：友だちと関わる中で、自他のよさに気付く

# 第20班 テーマ：思考力の芽生え

幼児期・年長後半  
入学  
一年生・入学当初

(学びの芽生え)  
(自覚的な学び)

子どもの姿

楽しく活動

興味・関心をもつ

やってみる

上手いかない

解決策を考える

成功体験

【保育者・教師が大切にすること】

- ・子どもたちが楽しいと思えるような環境設定を行う。
- ・一日の見通しをもたせ、スムーズに活動できるようにする。
- ・「やりたい」「やってみたい」という期待をもたせる。
- ・実践してみてどうだったか、どうすればよかったかを一緒に考えていく。
- ・考えが思いつかない子どもにはアドバイスをする。(答えを教えるのではなく、アドバイスをする。)



- ・上手いかなかった理由を知らせたり、気付かせたりする。「～だから上手いかなかったのかな。」
- ・発問を投げかける。子どもから解決策が出るように「じゃあ、どうすれば上手いくなるかな？」
- ・ヒントとなる道具や友達の活動に目を向ける。「～が使えるよ」「友達はどうしているかな？」
- ・できたことを喜ぶ。褒める。作品紹介をする。「やったね」「できたね」
- ・受容・共感し、達成感を味わわせる。



【大切な経験や活動】



- ・砂遊び
- ・自由製作(廃材制作)



- ・虫探し
- ・固定遊具
- ・運動遊び



- ・集団遊び
- ・所外活動
- ・氷づくり



- ・体育マット運動
- ・生活科学学校探検
- ・国語音読の仕方



- ・アサガオを育てる
- ・図工鑑賞

目指す姿：自ら判断し行動する。「こうしよう！」